

**「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）
3 か年（平成 26 年度～平成 28 年度）の事業・取組の評価・検証」（概要）**

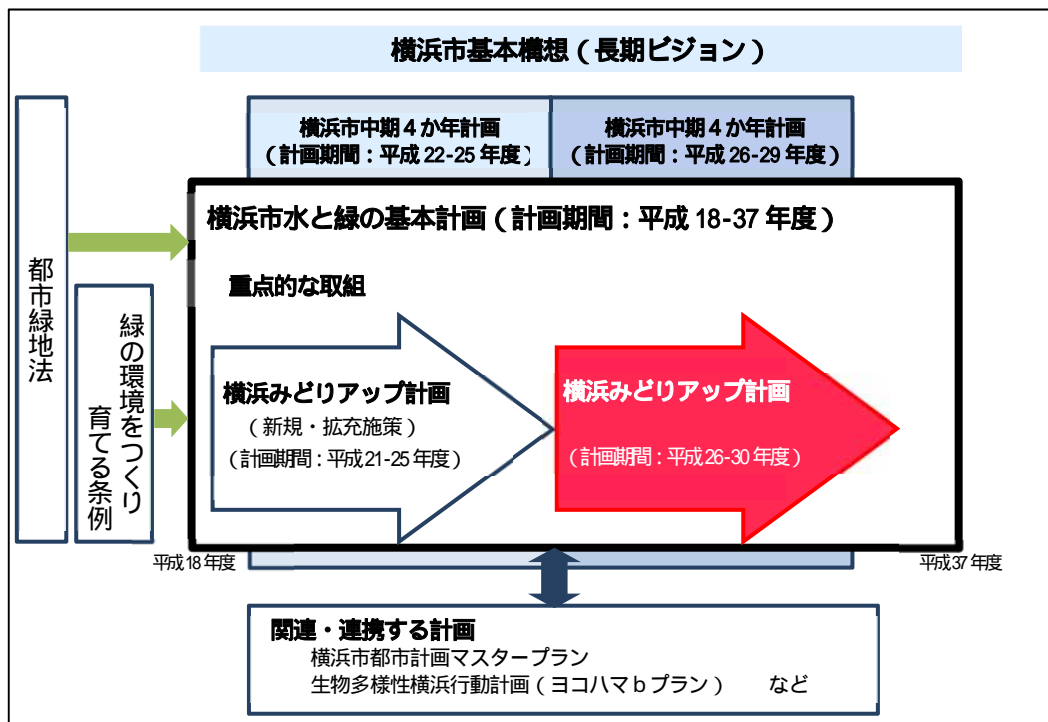
平成 26 年度から取り組んでいる、「横浜みどりアップ計画」は、平成 29 年度に 4 年目となります。今回、平成 28 年度までの 3 か年を振り返り、事業・取組の評価・検証を行いましたので、ご報告します。

【目次】

1	みどりアップ計画の概要	P.2
	（1）横浜みどりアップ計画の位置づけ	P.2
	（2）計画の理念	P.2
	（3）計画の体系と取組内容	P.3
2	3 か年の事業・取組の実績と評価・検証	P.4
	（1）評価の考え方	P.4
	（2）評価の結果一覧	P.4
	（3）「取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む」の評価・検証	P.5
	（4）「取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる」の評価・検証	P.11
	（5）「取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる」の評価・検証	P.16
	（6）事業費・みどり税の執行状況	P.22

1 横浜みどりアップ計画の概要

(1) 横浜みどりアップ計画の位置付け



【図】横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）の位置付け

(2) 計画の理念

計画の理念：みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度の指定による樹林地の担保量が増加、水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

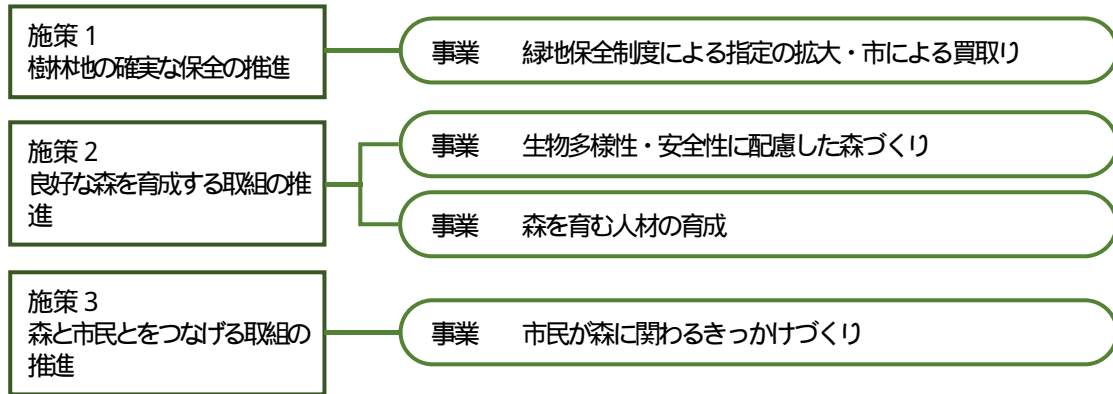
森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により町の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

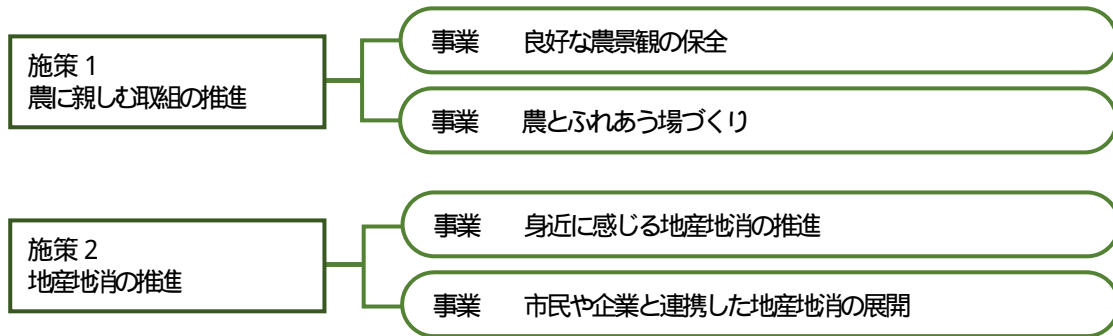
森に関わるイベントや農作物収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

(3) 計画の体系と取組内容

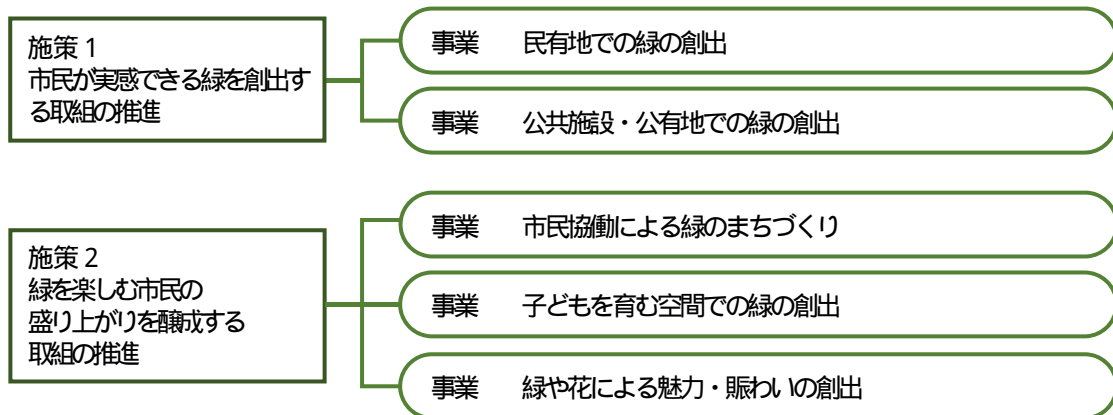
取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



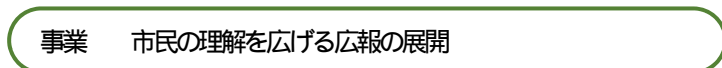
取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる



取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる



効果的な広報の展開



2 3か年の事業・取組の実績と評価・検証

(1) 評価の考え方

ア 進捗状況の評価

全 29 の取組ごとの、5 か年の目標および計画事業費に対する 3 か年の進捗および執行率を、次の評価基準により評価しました。

〔進捗状況についての評価基準〕

◎:60%以上

○:40%以上~60%未満

△:40%未満

イ 3か年の総合評価

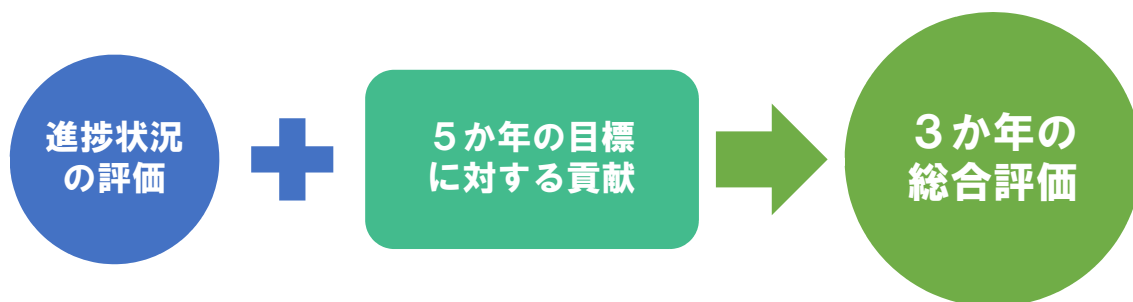
「ア」に加えて緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての5か年の目標に対する貢献も含めて、各事業・取組の成果を総合的に評価しました。

〔3か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果

B:概ね計画通りの成果

C:計画を下回る成果



(2) 評価の結果一覧

総合評価	A	B	C
取組の柱1	3	6	0
取組の柱2	3	6	0
取組の柱3	3	6	1
効果的な広報	0	1	0
合計	9	19	1

(3) 「取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む」の評価・検証

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む			
施策1 樹林地の確実な保全の推進			
事業①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	B	3-5
施策2：良好な森を育成する取組の推進			
事業②生物多様性・安全性に配慮した森づくり			
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	B	3-11
3	指定された樹林地における維持管理の支援	B	3-14
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	A	3-16
5	間伐材の有効利用	B	3-18
事業③森を育む人材の育成			
6	森づくりを担う人材の育成	B	3-20
7	森づくり活動団体への支援	A	3-23
施策3：森と市民とをつなげる取組の推進			
事業④市民が森に関わるきっかけづくり			
8	森の楽しみづくり	A	3-27
9	森に関する情報発信	B	3-31



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による 買取希望等への対応	
進 捗 状 況	平成26年度実績	101.7ha		18.2ha	
	平成27年度実績	102.5ha		24.1ha	
	平成28年度実績	62.4ha		24.7ha	
	3か年累積 [a]	266.6ha		67.0ha	
5か年目標・想定 [b]		目標	500ha	想 定	108ha
3か年計画値 [c]		300ha		64.8ha	

目標・計画値に対する進捗率

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による 買取希望等への対応	
5か年目標・想定に対す る 進捗率 [a/b×100]		53%	○	62%	◎
3か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]		89%		103%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費		うち横浜みどり税	
執 行 状 況	平成26年度決算額	5,878 百万円		677 百万円	
	平成27年度決算額	6,390 百万円		1,151 百万円	
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	6,250 百万円		913 百万円	
	3か年累積見込額 [d]	18,518 百万円		2,741 百万円	
5か年計画額 [e]		32,494 百万円		3,556 百万円	

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		57%	○	77%	◎



3か年の評価・検証

- ① 土地所有者への働きかけを積極的に実施することで、指定実績は3か年目標の9割に近い266.6haを指定しました。
- ② 近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は今後も続いていくと考えられます。
- ③ 指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して確実に対応してきたことで、約67ha（約22ha/年）の樹林地を市有地として保全していくことができました。
- ④ みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけの際に指定できた案件も増えてきました。目標達成のためには、このような事業の周知・PR、再度の働きかけも重要と考えています。

森の保全が進展

「緑の10大拠点」をはじめとした市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、土地所有者の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの制度指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に、着実に対応しました。

3か年で**266.6ha**
を保全（5か年目標：500ha）



図 緑地保全制度による新規指定等の面積推移

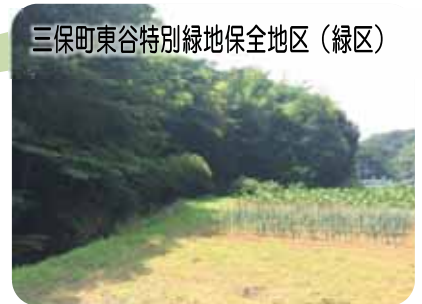
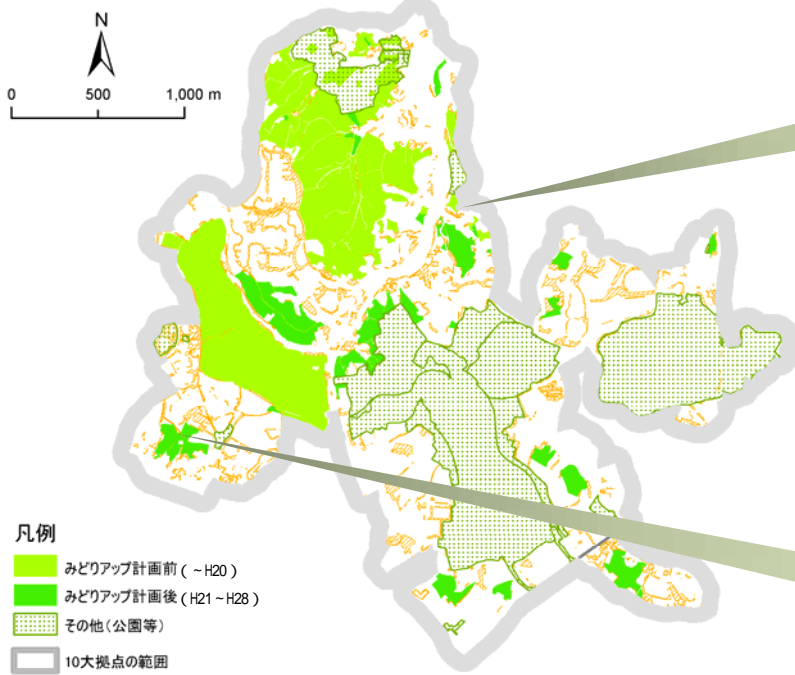


図 緑の10大拠点（三保・新治地区）での制度指定状況

取組番号 7 森づくり活動団体への支援



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森づくり活動団体への支援	
		樹林地	公園
進捗状況	平成26年度実績	延べ22団体	延べ9団体
	平成27年度実績	延べ23団体	延べ9団体
	平成28年度実績	延べ34団体	延べ10団体
	3か年累積 [a]	延べ79団体	延べ28団体
5か年目標 [b]		延べ50団体	延べ50団体
3か年計画値 [c]		延べ30団体	延べ30団体

目標・計画値に対する進捗率

		森づくり活動団体への支援		
		樹林地	公園	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	158%	◎	56%	○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	263%		93%	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	3百万円	3百万円
	平成27年度決算額	6百万円	6百万円
	平成28年度決算見込額 <small>※平成29年4月30日時点の数値</small>	7百万円	7百万円
	3か年累積見込額 [d]	16百万円	16百万円
5か年計画額 [e]		28百万円	28百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	57%	○	57%	○



3か年の評価・検証

- ① 森づくり活動を行っている団体に対する道具の貸出しや助成等の支援を通じて、樹林地の効率的・効果的な維持管理を推進しました。
- ② 森づくりに関する技術研修の実施を支援したことにより、森づくり活動を担う会員の人材育成につながりました。
- ③ 専門家の派遣により、生物多様性に配慮した保管理作業のアドバイスを、活動団体のニーズに応える形で行うことができました。
- ④ 今後は、森づくり活動の安全性向上のため、活動団体の安全管理の状況を把握し、より積極的な専門家派遣を行っていくことも必要です。

3か年の総合評価

A

森への関わりが広がり、深まる

森に関わるきっかけとなるイベントや講座を開催し、森に関わる市民の裾野を広げるとともに、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象とした研修などにより、森を育む人の技術の向上を図りました。また、市民の森や都市公園内のまとまった樹林等において、森の将来像や維持管理の考え方、作業内容を定めた「保安全管理計画」を森ごとに策定し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、間伐や下草刈りなどの管理を進めました。



森づくりボランティア入門講座



アドバイザーの派遣



保安全管理計画に基づいた森づくり



春の野草30種研修

アドバイザーの派遣、道具の貸出し、活動に対する助成など

3か年で延べ**107**団体

[樹林地79団体・公園28団体]
の森づくり活動を支援
(5か年目標：100団体)

保安全管理計画の策定
計画に基づいた
維持管理作業

森づくり
活動団体

森づくり
ボランティア
など

森づくりボランティア入門講座
スキルアップ講座
活動団体の情報提供
加入の橋渡しなど

一般の方

市民の森等のガイドマップ作成
ウェルカムセンターにおける
展示解説、自然体験、環境学習など



自然遊び講座



トンボ観察会

クラフト教室や
生き物ウォッチングなど
3か年で**345**回の
森に関わるきっかけとなる
イベントを実施
(5か年目標：180回)

- 不測の事態による買取り希望等への対応：67.0ha [5か年の目標（想定）：108ha]
- 保安全管理計画の策定：樹林地8か所、公園12か所 [5か年の目標：樹林地15か所、公園10か所]
- 指定された樹林地における維持管理の支援：318件 [5か年の目標：650件]
- 3か年事業費累計：20,575百万円（うち横浜みどり税：4,205百万円） [5か年計画事業費：36,639百万円]

●森づくりの推進

森の維持管理をするための手法などが整理された技術指針である「森づくりガイドライン(平成25年3月策定)」や、森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を活用しながら、愛護会などと連携して森づくりを推進しました。



いろいろな立場の人

- ・利用者
- ・土地所有者
- ・森づくり活動をする人
- ・行政(管理者)
- ・事業者

いろいろな生き物

- ・明るい森が好きな生き物
- ・暗い森が好きな生き物
- ・湿地が好きな生き物
- ・森も草地も必要な生き物

その森の立地、歴史

- ・地形や気候
- ・周りの土地利用
- ・昔の土地利用
- ・風習や言い伝え、伝統行事

目標の設定 ゾーニング(エリアわけ) 管理の方法
みんなで話し合っ、調査をして、目標を共有する

生物多様性や安全性に配慮した維持管理の実施


森づくり

必要に応じて、
作業内容や方法の見直し

維持管理の成果を確認

(4) 「取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる」の評価・検証

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる			
施策1 農に親しむ取組の推進			
事業①良好な農景観の保全			
10	水田の保全	B	3-34
11	特定農業用施設保全契約の締結	B	3-37
12	農景観を良好に維持する取組の支援	B	3-39
13	多様な主体による農地の利用促進	A	3-42
事業②農とふれあう場づくり			
14	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	B	3-45
15	市民が農を楽しみ支援する取組の推進	A	3-50
施策2 地産地消の推進			
事業③身近に感じる地産地消の推進			
16	地産地消にふれる機会の拡大	B	3-55
事業④市民や企業と連携した地産地消の展開			
17	地産地消を広げる人材の育成	A	3-59
18	市民や企業等との連携	B	3-63

 3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		水田保全承認面積	水源確保施設整備
進捗状況	平成26年度実績	119.7ha	1か所
	平成27年度実績	120.1ha	1か所
	平成28年度実績	120.8ha	2か所
	3か年累積 [a]	120.8ha	4か所
5か年目標 [b]		125ha	10か所
3か年計画値 [c]		122ha	6か所

目標・計画値に対する進捗率

		水田保全承認面積		水源確保施設整備	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		97%	◎	40%	○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		99%		67%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	49 百万円	35 百万円
	平成27年度決算額	36 百万円	34 百万円
	平成28年度決算見込額 <small>※平成29年4月30日時点の数値</small>	58 百万円	33 百万円
	3か年累積見込額 [d]	143 百万円	102 百万円
	5か年計画額 [e]	343 百万円	183 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		42%	○	56%	○

 3か年の評価・検証

- ① 3か年で新規に承認された6.9haを加えて水田保全承認面積が水田面積全体の約9割となり、事業がおおむね順調に進みました。
- ② 水田は畑作に比べて収益性が低いことに加え、耕作者の高齢化により水稻作付が困難になっている状況の中で、水田保全承認や水源確保のための井戸設置に対する支援は、水田の継続に対して一定の効果があったと考えられます。

3か年の総合評価

B

「農景観を次の世代に」

市内の水田の9割を保全

貯水機能や景観形成などの市民共有の貴重な農景観である水田の減少を食い止めるため、水稲作付を10年間継続することを条件に土地所有者へ奨励金を交付し、市内の水田の約9割にあたる120.8haの水田の保全を行いました。

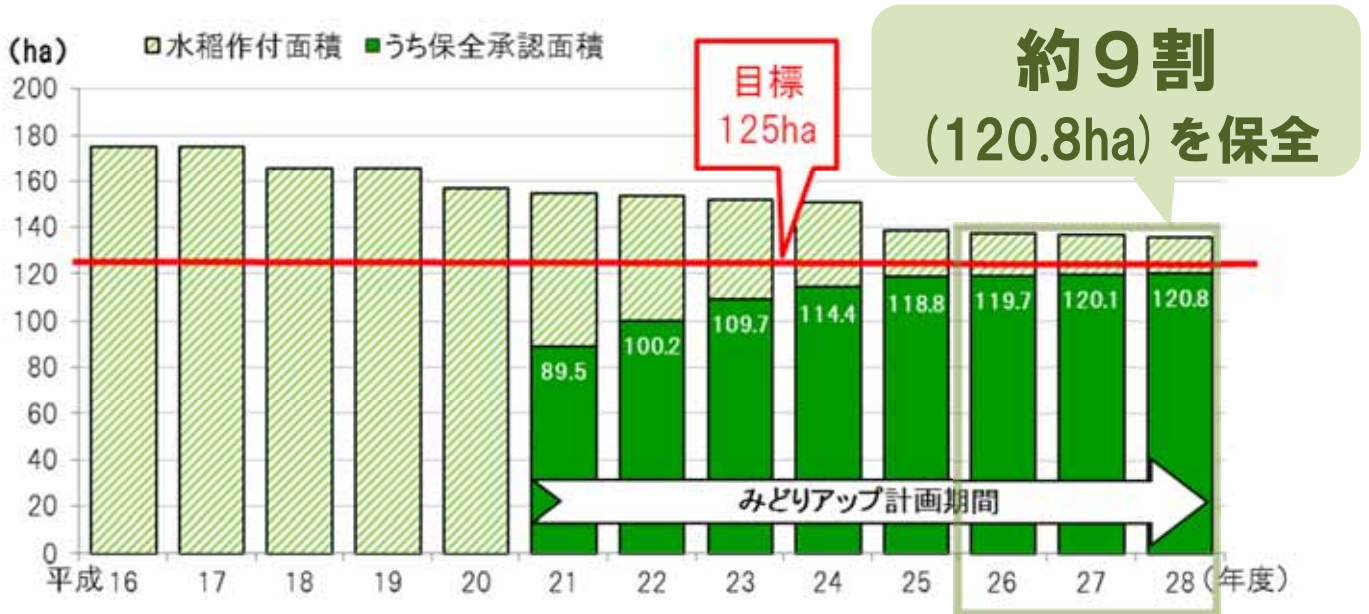


図 横浜市の水稲作付面積と保全承認面積の推移



取組番号 14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
進捗状況	平成 26 年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
	平成 27 年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
	平成 28 年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
	3か年累積 [a]	15.9ha	5.0ha	7.1ha	3.8ha
5か年目標 [b]		25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha
3か年計画値 [c]		(15.5ha)	—	—	—
目標・計画値に対する進捗率					
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		62% ◎	40% ○	118% ◎	52% ○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		103%	—	—	—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	739 百万円	354 百万円
	平成 27 年度決算額	602 百万円	65 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	696 百万円	227 百万円
	3か年累積見込額 [d]	2,037 百万円	646 百万円
	5か年計画額 [e]	2,514 百万円	1,101 百万円
計画額に対する進捗率			
		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		81% ◎	59% ○

3か年の評価・検証

- ① 開設支援や整備を行った農園を合計すると、3か年で 15.9ha となり、果物のもぎとりや野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。
- ② 事業として農園の開設に関心を持つ農家も多く、継続して取り組むことで、市民だけでなく農家のニーズにも答えることが可能です。
- ③ 農園付公園は、3か年で整備が完了した7か所のほか、複数箇所で事業が進んでいます。

3か年の総合評価

B

農とのふれあいの場が着実に増加

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を進めました。また、農体験教室の開催や直売所・青空市への支援など、楽しみながら農とふれあい、農畜産物などを味わえる機会を提供しました。

気軽に農を体験する

本格的に農を楽しむ



3か年で**15.9ha**（96か所）
の農園を開設支援・整備
（5か年目標：25.9ha）



- 農体験教室などの実施：271回 [5か年の目標：500回]
- 直売所等の支援：25か所 [5か年の目標：52件] / 青空市運営支援：14か所 [5か年の目標：25件]
- はまふうどコンシェルジュの活動支援：64件 [5か年の目標：60件]
- 3か年事業費累計：2,685百万円（うち横浜みどり税：882百万円） [5か年計画事業費：3,985百万円]

(5) 「取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる」の評価・検証

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる			
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進			
事業①民有地での緑の創出			
19	民有地における緑化の助成	C	3-68
20	建築物緑化保全契約の締結	B	3-71
21	名木古木の保存	B	3-74
22	人生記念樹の配布	B	3-76
事業②公共施設・公有地での緑の創出			
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	A	3-79
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出	B	3-82
25	いきいきとした街路樹づくり	B	3-84
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上げを醸成する取組の推進			
事業③市民協働による緑のまちづくり事業			
26	地域緑のまちづくり	A	3-86
事業④子どもを育む空間での緑の創出事業			
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	A	3-90
事業⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業			
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	A	3-93
効果的な広報の展開			
事業①市民の理解を広げる広報の展開			
29	計画の周知や実績報告	B	3-96

取組番号 19 民有地における緑化の助成



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑化の助成
進捗状況	平成26年度実績	5件
	平成27年度実績	5件
	平成28年度実績	7件
	3か年累積 [a]	17件
5か年目標 [b]		65件
3か年計画値 [c]		39件

目標・計画値に対する進捗率

		緑化の助成	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	26%	△	
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	44%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	2百万円	0百万円
	平成27年度決算額	2百万円	1百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	2百万円	0百万円
	3か年累積見込額 [d]	6百万円	1百万円
5か年計画額 [e]		148百万円	123百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率(見込) [d/e×100]	4%	△		1%	△



3か年の評価・検証

- ① 民有地での緑化推進を図るため、緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南の5区では、屋上緑化や壁面緑化だけでなく公開性や視認性の高い場所での地面での緑化を対象とするなど、助成内容を拡充して取組を実施しましたが、助成件数が3か年計画値の半分程度に留まりました。
- ② 多くの市民の目に触れる場所で制度がさらに活用され、緑の創出が実感できるように、効果的な広報を行うとともに、より利用されやすい工夫も必要です。

3か年の総合評価

C

取組番号 26 地域緑のまちづくり



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		地域緑化推進事業
進捗状況	平成26年度実績	22地区（うち新規：6地区）
	平成27年度実績	26地区（うち新規：4地区）
	平成28年度実績	35地区（うち新規：9地区）
	3か年累積 [a]	35地区
5か年目標 [b]		46地区
3か年計画値 [c]		34地区

目標・計画値に対する進捗率

		地域緑化推進事業	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	76%	◎	
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	103%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	196百万円	196百万円
	平成27年度決算額	151百万円	151百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	165百万円	165百万円
	3か年累積見込額 [d]	512百万円	512百万円
5か年計画額 [e]		931百万円	931百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率（見込） [d/e×100]	55%	○	55%	○	



3か年の評価・検証

- ① 事業広報の充実とともに、専門家による緑化計画づくりの支援等により、多くの提案応募があり、地域にふさわしい緑をつくる計画が採択され、目標を上回る地区で緑化の取組が進みました。
- ② 地域の緑化計画に基づく緑化活動により、住宅地から商業・工業地域まで、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動も盛んになりました。
- ③ 市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流会などの支援の取組を今後も工夫する必要があります。

3か年の総合評価

A

35地区で緑のまちづくりが進展 緑を通じて地域も活性化

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めました。

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から緑化計画の提案を公募し、まちづくりや緑化の専門家による計画づくりの支援を行い、平成25年度以前から継続して取り組んでいる16地区に加えて3か年で19地区の団体と新たに協定を締結し、市内35地区において、様々な緑をつくる活動が行われ、地域で緑化を推進しました。



横浜市内の
35地区で
緑のまちづくり
 （5か年目標：46地区）

図 地域緑のまちづくり実施箇所

取組番号 28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		都心臨海部の緑化	緑化の維持管理
進捗状況	平成26年度実績	6か所	3か所
	平成27年度実績	4か所	4か所
	平成28年度実績	12か所	8か所
	3か年累積 [a]	22か所	15か所
5か年目標 [b]		推進	推進
3か年計画値 [c]		推進	推進

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	173 百万円	146 百万円
	平成27年度決算額	519 百万円	143 百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	513 百万円	483 百万円
	3か年累積見込額 [d]	1,205 百万円	772 百万円
5か年計画額 [e]		1,620 百万円	1470 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		74%	◎
			53%
			○

3か年の評価・検証

- ① 都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて、緑のネットワーク形成や季節の花による空間演出が着実に進み、街の回遊性や魅力が高まりました。
- ② 山下公園、港の見える丘公園や新港中央広場などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が進んでおり、市民や観光客の目を楽しませています。
- ③ 都心臨海部は、多くの市民や観光客が訪れる横浜の顔であり、引き続き質の高い維持管理を進めながら、緑や花によりエリア全体の魅力を高めていくことが重要です。

3か年の総合評価 **A**

街の賑わいを生み出し、 観光・MICEにも貢献する緑の創出が進展

多くの市民が時間を過ごし、国内外からも多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部の都市公園、港湾緑地、街路樹などを中心に、質の高い緑や花の整備と管理を集中的に展開し、街の魅力の形成、賑わいづくりにつなげました。



- 民有地における緑化の助成：17件 [5か年の目標：65件]
- 公共施設・公有地での緑の創出：56か所 [5か年の目標：58か所]
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出：118か所 [5か年の目標：100か所]
- 3か年事業費累計：4,469百万円（うち横浜みどり税：2,501百万円） [5か年計画事業費：7,784百万円]

(6) 事業費・みどり税の執行状況

(単位：百万円)

	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算見込額※	累計 (3か年)	5か年 計画事業費
取組の柱1	6,498	7,085	6,992	20,575	36,639
合計	1,118	1,611	1,476	4,205	6,719
取組の柱2	928	820	937	2,685	3,985
合計	429	148	305	882	1,661
取組の柱3	1,247	1,454	1,768	4,469	7,784
合計	654	809	1,038	2,501	4,639
広報の展開	16	17	16	49	80
合計	-	-	-	-	-
事業費総計	8,689	9,376	9,712	27,777	48,488
	2,200	2,569	2,819	7,588	13,019

※平成28年度は平成29年4月30日時点の見込数値です

※端数調整により、合計値は一致しない場合があります

【事業費欄の見方】

上段：事業費

下段：うち横浜みどり税